

# 岡山支部通信

【連絡先】〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1 岡山大学大学院社会文科学研究科 松木武彦  
http://sky-geocities.jp/jsa\_okayama/index.html, (086)251-7457, email: matugi@cc.okayama-u.ac.jp

---

## 【目次】

1. 岡山支部例会「よもやま話の会」開催のお知らせ  
10月18日（月）佐々木 健二氏  
抗マラリア薬、抗MRSA薬のデザイン、合成及び生物活性評価
2. 日本科学者会議 第18回 総合学術研究集会のお知らせ
3. 5月「よもやま話の会」報告  
夢と希望と専門職 —岡山大学の教師教育— 高橋 香代 氏

付録：日本科学者会議岡山支部 2010年度定期大会決議

---

## 1. よもやま話の会 開催のお知らせ

### 抗マラリア薬、抗MRSA薬のデザイン、合成及び生物活性評価

演者の研究室では、学生が自分で合成した化合物に対して、その機能活性を自分で測定し、活性評価を行うことが特徴の一つです。今回の講演では、現在行っている研究について、特に生物活性（抗マラリア、抗MRSA等）を有する化合物の合成と生物活性評価を中心にお話し頂きます。

講師：佐々木 健二氏、所属 岡山大学医歯薬学総合研究科  
日時：10月18日（月）17:30～18:40、  
場所：岡山のどこか

参加は無料です。教員、学生、市民の皆様の多数のご参加をお待ち致しております。

## 2. 日本科学者会議 第18回 総合学術研究集会のお知らせ

日本科学者会議 第18回 総合学術研究集会（21世紀：人類史の転換期における科学の役割、多様性と普遍性の矛盾を考える）が以下の日程で行われます。会員の皆様の参加をお願いいたします。

日時：2010年11月19日（金）午後18時半～21日（日）18時  
場所：KKRホテル仙台（仙台市青葉区錦町1-8-17）

### 3. 「よもやま話の会」5月例会報告

## 夢と希望と専門職 ―岡山大学の教師教育―

岡山大学資大学院教育学研究科・教師教育開発センター 高橋 香代

#### 1. はじめに

岡山大学には、教育学部に加えて、文学部、法学部、経済学部、理学部、工学部、環境理工学部、農学部という教員免許を取得できる8つの課程認定学部があります。これまで教育学部以外の課程認定学部では、教員免許取得に必要な単位を修得することはできましたが、教員養成教育として大学全体が取り組むという点では、十分な仕組ではなかったと思います。

岡山県の教育界からも、岡山大学から多様で力量ある教員を輩出してほしいとの声もあり、教育学研究科として全学の教職課程改善に取り組むことになりました。この取組が、平成21年度文部科学省大学教育推進GP「総合大学が担う特色ある教員養成の質保証」として採択され、事業の推進母体として全学組織である「教師教育開発センター」が、平成22年4月に設置されました。

4月22日には、文部科学省 徳永保高等教育局長ならびに門野八洲雄岡山県教育長、山脇健岡山市教育長を来賓にお迎えして、岡山大学教師教育開発センター開所式が開催されました。総合大学において、全学教職課程として学部の枠を超えて教員養成教育の改善に取り組むのは全国初となります。

同センターでは、これまで教育学部が開発してきた教員養成プログラムの成果を他学部生にも提供し、全学教職コア・カリキュラムの開発や企画・運営して、岡山大学全体の教員養成の質を保証する取り組みを進めます。また教師力向上のための研修会だけでなく、採用試験対策や悩み相談などに応じる「教職相談室」の運営や、地元教育委員会との連携、学生のボランティア活動も推進します。

これらの活動を通して、教師教育開発センターは、教員になる夢を持っている学生に対し、教職に就く希望をふくらませることができるカリキュラムを開発し専門職として育てほしいと願い、岡山大学の教員養成教育のキーワードを「夢と希望と専門職」といたしました。

#### 2. 全学教職課程について

今回の全学教職課程は、平成18年中央教育審議会答申「今後の教員養成・免許制度の在り方について」で求められた学部における教職課程改善に対応するものです。答申では、学部教職課程の改善について、①教職実践演習の新設・必修化、②教育実習の改善・充実、③「教職指導」の充実、④教員養成カリキュラム委員会機能の充実・強化、⑤教職課程に係る事後評価機能と認定審査の充実が指摘されています。

以上を踏まえて、全学教職課程開発のコンセプトは、①単位数は増やさない、②全学教職コア・カリキュラムの科目の配当年次を計画的に行なう、③全学教職コア・カリキュラムの質を保証（教科書や手引きの充実、実務家教員の配置）、④履修カルテとしての教職実践ポートフォリオで到達目標を確認する、⑤教職支援で教員就職率を上げることで

す。そのためには、「夢と希望と専門職」をキーワードとして育てていきたいと考えています。

全学教職課程のディプロマポリシーは、本学の目的・教育理念をふまえて「ESD（持続発展教育）の理念をもち、4つの力で構成される教育実践力をバランスよく身につけた反省的で創造的な教員」としてしています。そのもとに、全学教職コア・カリキュラムを構築しています。

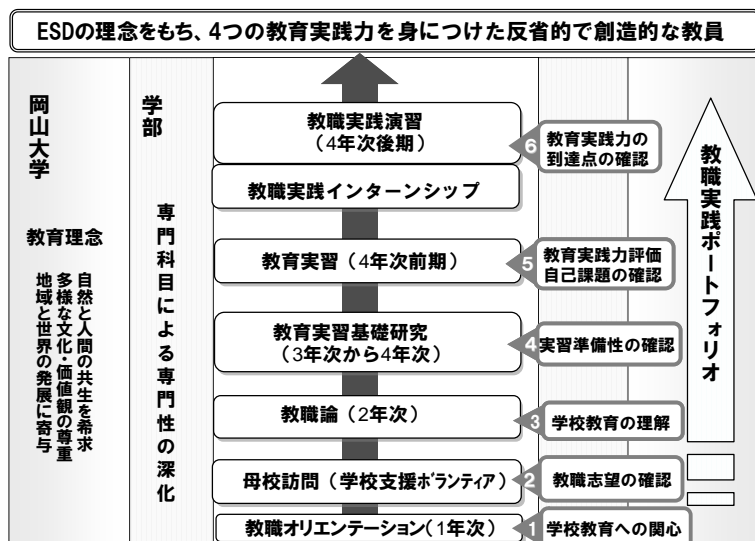


図1 全学教職コア・カリキュラム(1から6の段階を教職実践ポートフォリオで自己評価)

### 3. 全学教職コア・カリキュラムの構造

全学教職コア・カリキュラムは、1年次から4年次の5期に分けて段階的に進めます。

まず1年次(教職への意欲向上期)は、7月に「教職オリエンテーション」で学校教育への関心を確認します。その後教職への志望を確認するために、母校訪問(または学校支援ボランティア)を行い教職への夢と希望をふくらませます。

2年次(学校教育理解期)は、母校訪問などで教職へ就く意欲を確認した後、教職科目「教職論」で、学校教育や教職の基本を理解します。

3年次(基礎的教育実践力養成期)は、「教育実習基礎研究」で、教育実習の前に必要な基礎的教育実践力を身につけます。

4年次(教育実践力養成期)の前期には、実習校で「教育実習」を行って学習指導・生徒指導・学級経営等の教育実践力を身につけます。後期には、「教職実践演習」で、自らの教育実践を振りかえり課題を発見して、不足している力を身につける努力をして教育実践力をバランスよく身につけます。

この各学年毎のステップを確実に歩むことで、教員としての力をつけていくことができます。

「教職実践ポートフォリオ」は、1年次から4年次の全学教職課程において、自らの

実践的指導力を自己評価していく学びの目安です。授業や実習において身につけた力は、「学習指導力」「生徒指導力」「コーディネート力」「マネジメント力」の4つの力で評価します。教育実践力とは、この4つの力から構成される総合的な教育実践の力量を意味しています。

「教職実践ポートフォリオ」は、4年次後期に開講される「教職実践演習」で、自らの

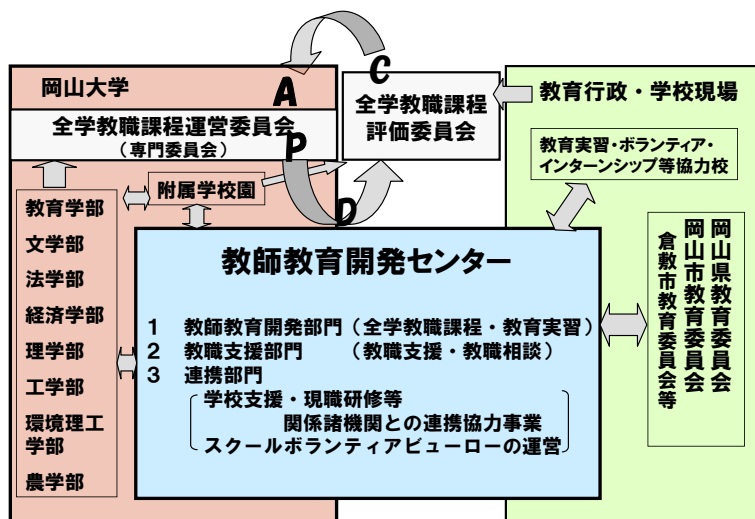


図2 全学教職課程の運営体制

データファイルである履修カルテとしても活用します。

#### 4. 最後に

全学教職課程の運営体制は、

図2のように全学教職課程運営委員会が担当しています。

推進母体である教師教育開発センターのスタートに当たって、検討事項が大量にあり大変ですが、全学の先生方にご理解とご協力をお願いしたいと思います。

編集後記：ようやく朝晩は涼しくなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。2010年度第2号をお届けいたします。近頃は、8月も試験やらオープンキャンパスやらイベントがあって休む暇もないですね。皆さん、夏バテぎみではないでしょうか？ 先日（8月5日）に幹事会兼ビール大会がありました。会場の三光荘にあるテラスから岡山城を眺めつつの楽しい懇親会でした。（衣笠）